

◇…理化学研究所（埼玉県和光市）と国立天文台は六日、同天文台ハワイ観測所のすばる望遠鏡が天体観測を行つ際、大気のゆうぎを補正するための指標となる「人工の星」を空に発生させるレーザー光線の照射装置＝写真＝を開発、理研の敷地内で試験照射をした。

◇…上空にはナトリウムの原子密度が濃い層があり、レーザー光線の照射を受けるとナトリウムの“雲”が光り、まるで星のように見える。この装置を望遠鏡に付けると、観測範囲が従来の百倍に広がるという。

◇…試験照射では、理研内に仮設された装置から、波長五百八十九ナミ（一ナミは百万分の一ミリ）のレーザー光線を空に発射。オレンジ色の細く真っすぐなビームの先端が雲間に消えた。

